

2021年10月5日

東大阪市

近鉄バス株式会社

関西電力株式会社

NEWS RELEASE

東大阪市市域の環境対策等の強化に関する 連携協定の締結について

東大阪市、近鉄バス株式会社および関西電力株式会社は、本日、東大阪市域の環境対策等の強化に関する連携協定を締結いたしました。

東大阪市は「2050年ゼロカーボンシティ」を掲げており、その実現に向けて、3者はこれまでから意見交換を重ねてきました。このたび、モビリティの活用やエネルギーの利活用を通じてその実現を目指すことについて3者で合意したことから、本協定の締結に至りました。

具体的には、モビリティ分野では東大阪市内における電気バスの普及拡大や公用車の電動化に向けた取組みに加え、災害時の備えとして、停電時に避難拠点で電気バスの電源を活用すること等を検討します。また、エネルギー分野では、公共施設において、省エネ性能を向上させた設備の導入やその最適運用、また再生可能エネルギー電源の導入拡大等を検討します。

本協定を通じて、3者は東大阪市域の環境対策等を強化し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上



【写真左:塩川耕士 近鉄バス(株)取締役社長 写真中:野田義和 東大阪市長
写真右:関西電力(株)大川博己 ソリューション本部長執行役常務】

添付資料1：東大阪市、近鉄バス株式会社及び関西電力株式会社の東大阪市域の環境対策等の強化に関する連携協定書

添付資料2：東大阪市域の環境対策等の強化に向けた連携協定について